

# 蜜のあわれ

人を好きになるといふことは、  
愉しいことではないと信じています。



二階堂ふみ 大杉漣  
真木よう子 / 韓英恵 上田耕一 渋川清彦 高良健吾 / 永瀬正敏

原作：室生犀星「蜜のあわれ」  
脚本：港岳彦 監督：石井岳龍

制作プロダクション：ステューディオスリー 製作：「蜜のあわれ」製作委員会 配給：ファントム・フィルム  
©2015「蜜のあわれ」製作委員会

室生犀星の幻想文学を映画化。  
金魚と作家と幽霊が織りなす、艶やかで濃密な恋の物語。



室生犀星の

幻想文学映画化

# 老作家の おじさまと 金魚の少女の 秘めた恋

「おじさま、あたいを恋人にして頂戴。  
短い人生なんだから、  
楽しいことのでいっばいにするべきよ」

「僕もとうとう  
金魚と寝ることになったかー」

自分のことを「あたい」と呼び、まあるいお尻と愛嬌のある顔が愛くるしい赤子(二階堂ふみ)、共に暮らす老作家(大杉漣)を「おじさま」と呼んで、かなりきわどいエロティックな会話を繰り返す。夜は身体をぴったりとくっ付けて一緒に眠る。しかしなにやら様子がおかしい。赤子は普通の女とは何かが違う。普通の人間には彼女の正体がわからず、野良猫には正体がバレてしまう。そう、彼女はある時は女(ひと)、ある時は尾ひれをひらひらさせる真っ赤な金魚だったので…。そんな或る時、老作家への愛を募らせこの世へと蘇った幽霊のゆり子(真木よう子)が現れる。老作家の友人・芥川龍之介(高良健吾)、金魚売りの男(永瀬正敏)が3人の行方を密かに見守る中、ある事件が起きて…。



徳田秋聲、泉鏡花と並び、金沢三文豪の一人である室生犀星。大正期の詩壇を牽引、昭和期には「幼年時代」「あにいもうと」「杏っ子」などの名作小説を発表しつつ、随筆、童話、俳句とジャンルは多岐に渡って作品を発表した近代文学史作家のひとり。晩年に発表した小説「蜜のあわれ」は、室生自身を投影しているともいわれている老作家と、変幻自在の金魚の姿を持つ少女・赤子との無邪気でエロティックな触れ合いを描いた幻想的な文学ドラマ。

金魚から人間の姿に変貌する美しく小悪魔的な少女・赤子を二階堂ふみが熟演。そ

して赤子と共に暮らす老作家役には大杉漣。老作家の過去の子で怪しげな幽霊に真木よう子、そして同時代に活躍し親交も深かった作家・芥川龍之介役には高良健吾、唯一赤子の秘密を知る金魚売りに永瀬正敏と、豪華キャストが物語を彩る。監督は、ジャンルを超えた強烈な世界観で熱狂的な支持を受け、精力的に作品を創り続けている石井岳龍。室生犀星の地元である石川県金沢市・加賀市を中心に富山県でもロケが行われ、原作小説の耽美でエロティシズム漂う世界観を見事によみがえらせた。

二階堂ふみ 大杉漣

真木よう子／韓英惠 上田耕一 渋川清彦 高良健吾／永瀬正敏

原作：室生犀星「蜜のあわれ」 脚本：港岳彦 監督：石井岳龍

エグゼクティブプロデューサー：香山哲 小西啓介 プロデューサー：小林千恵 森重晃 ラインプロデューサー：浅谷恭史  
音楽：森俊之 脚本監修：笠松則通 撮影：笠松則通 照明：岩下和裕 録音：古谷正志 美術デザイン：佐々木尚 美術：青藤佐都子  
装飾：須坂文昭 衣裳デザイン：澤田石和寛 衣裳：大森茂雄 ヘアメイク：永江三千子 メインタイトル：赤松陽雄造  
編集：武田峻彦 石井岳龍 視覚効果：松本肇 音響効果：勝保まさよし 助監督：藤江慎全 制作担当：小沼秀剛  
制作プロダクション：スタジオスリー 制作協力：ザファル 製作：「蜜のあわれ」製作委員会 配給：ファントム・フィルム ©2015「蜜のあわれ」製作委員会



## 4月1日(金)全国ロードショー

特別鑑賞券 ¥1,400(税込・当日一般¥1,800の処) 絶賛発売中

先着限定で『100年続く紙船屋製作「金魚紙船」』をプレゼント!

※カラー複製あり、色はお選びいただけません。



新宿三丁目駅C4出口前 マルイアネックス9F  
**新宿バルト9**  
03(5369)4955 wald9.com